

新刊案内

貸出し中の本は予約することができます。
HP・お電話でもできますので、詳しくは
カウンターまでおたずねください。

新刊コーナーにあるよ。



『虫と仕事がしたい!』

丸山 宗利/編著

河出書房新社 [Y486 ム]

昆虫研究者、昆虫写真家、昆虫館職員、昆虫 YouTuber、殺虫剤メーカー研究員…。虫のプロフェッショナル 15人が、仕事のリアルと昆虫の魅力を語る。

『ツバメの親子はどこにいる』

樋崎 茜/作 くもん出版 [Y913 カ]

小学五年生の明照は、白杖をもって弟の音晴の入学式に来た母の姿をからかってきたクラスメイトたちと、取っ組み合いのケンカになり…。視覚障害者の両親のもとに生まれた兄弟の成長を描く。

『学校では教えてくれないシェイクスピア』

北村 紗衣/著 朝日出版社 [Y932 シ]

批評家と男子高校生が、人種、ジェンダー批評理論などさまざまな現代の問題からシェイクスピアに迫る。2023年7月から9月に行った講義を再構成し、大幅に加筆。

【実用書】

『最強に面白い三角関数』

磯田 正美/著 ニュートンプレス [Y413 サ]

『工業科高校』

福田 伊佐央/著 ペリカン社 [Y376 フ]

【文芸書】

『少年と悪魔』

佐藤 まどか/著 講談社 [Y913 サ]

『#ホラーゲーム実況中』

青柳 碧人/著 朝日新聞出版 [Y913 ホ]

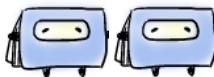
*大竹市立図書館のホームページの中にティーンズコーナーがあります。

勉強や悩みにも役立つリンク等もあるのでぞいてみてね。



大竹市立図書館ティーンズ便り第 39 号

〒739-0605 大竹市立戸1丁目6-1 ☎ 0827-52-5338



■利用案内

- ・開館時間 10:00~18:00 (火~土) / 9:00~17:00 (日)
- ・個人貸出 図書1人8冊 (内DVD・CD資料2点)
- ・貸出期間 2週間
- ・休館日 月曜日 (祝日の時は翌日も)・祝日・年末年始・特別整理期間

毎月末 (ただし、土・日・月・祝の時は直前の金曜日)

ホームページアドレス (蔵書検索もできます) <http://www.toshotoke.hiroshima.jp/>



スマートフォンをお持ちの方は
こちらの QR コードからもホーム
ページにアクセスできます。



大竹市立図書館には、ティーンズコーナーがあるのを知っていますか?
ティーンズコーナーでは、ティーンズ向けの本の展示をしています。
春・夏・秋・冬の年4回、入替えて
いるのでチェックしてみてください

☆『冬』(12・1・2月の展示)

テーマは、

冬なのにホラー



です。

1 冊紹介♪

寒い中、震えながら読むのはいかがですか

『異世怪症候群(シンドローム)』

最東 対地/著 星海社 [Y913 サ]

女子中高生の間で流行するレトロラジカセの購入。その裏には、彼女たちしか聴けない怪談を語る「怪人ラジオ」の噂が。ライター・鈴鳴鶴はその正体を追いかけるが…。書き下ろし連鎖感染型ホラー小説。

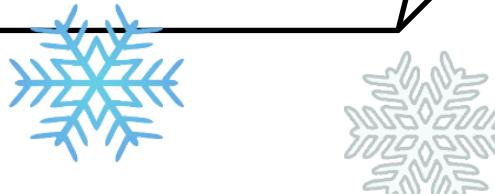
展示本リスト

『闇祓』 辻村 深月/著
KADOKAWA 【Y913 ツ】

親切に接する委員長・澤。しかし、そんな彼女に要は不審な態度で迫る。ヤバい行動を繰り返す要に恐怖を覚えた澤は憧れの先輩・神原に助けを求めるが…。

『ホロヴィッツホラー』
アンソニー・ホロヴィッツ/作
講談社 【Y933 木】

これから話す物語は、おれの全く知らない男の死から始まる。前人未到の記録を次々と打ち立てているイギリスの作家、アンソニー・ホロヴィッツによるホラー短編集。中・高校生を主人公にした9つの短編を収録する。



*[]は図書館の請求記号です。

『或るバイトを募集しています♪』

くるむあくむ/著
KADOKAWA 【Y913 ク】

新作の執筆依頼でバイト体験者に取材をする一人の作家。電話をするだけ、差し入れを渡すだけ、映像のチェックをするだけ。それだけの業務内容なのだが…。アルバイト募集からはじまる恐怖体験を描いたモキュメンタリーホラー。



『いまにヘレンがくる』

メアリー・ダウニング・ハーン/作
偕成社 【Y933 ハ】

母親の再婚(さいこん)で、教会だった家へと引っ越し(こ)してきたモリーと弟のマイケル。だが、あらたに妹となったヘザーはふたりを受けいれようとしない。そんなとき、モリーはヘザーが墓地の幽霊(ゆうれい)ヘレンに身をゆだねようとしていることに気づき、恐怖(きょうふ)を感じながらも、妹を救おうとすることが…。



他にもこんな本があります♪

『文豪ノ怪談ジュニア・セレクション呪』

小泉 八雲/ほか著 汐文社 【Y913 フ】

10代を対象にした文豪怪談アンソロジー。「呪」をテーマに、岡本綺堂「笛塚」、田中貢太郎「這って来る紐」などを収録する。総ての漢字にルビを付し、難解な言葉や言いまわしには詳しい注釈と鑑賞の手引きを施す。

『たてもの怪談』 加門 七海/著

エクスナレッジ 【913 カ】

自らの引っ越しにまつわる不思議な出来事、自宅での恐怖体験、訪れた文化財で出会った“この世ならざるモノ”…。建物にまつわる全9編を収録した、異能の人・加門七海の怪談実話集。

『深淵のテレパス』 上條 一輝/著

東京創元社 【Y913 カ】

会社の部下に誘われた大学のオカルト研究会のイベントで、とある怪談を聞いた日を境に、高山カレンの日常は怪現象に蝕まれる。カレンは藁にもすがる思いで「あしや超常現象調査」の2人組に助けを求めるが…。

『撮ってはいけない家』

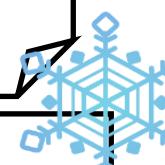
矢樹 純/著 講談社 【913 ヤ】

映像制作会社の杉田はモキュメンタリーホラーのプロットを託される。山梨の旧家で「家にまつわる呪い」の口ケを進める中、AD・阿南はフィクションの企画と現実の出来事の共通点に気付いて…。

『5分で読める!背筋も凍る怖いはなし』

『このミステリーがすごい!』編集部/編 宝島社 【B913 コ】

ある日、酒に酔った祖父に「お前の父さんを殺したのは自分だ」と告白されて…。海堂尊「赤い顔」をはじめ、岩井志麻子、岡崎琢磨、林由美子ら多彩な執筆陣が贈る、怖いショート・ストーリー、全24話。



*『祭火小夜の後悔』

秋竹 サラダ/著 KADOKAWA 【Y913 ア】

*『バラバラ屋敷の怪談』

大島 清昭/著 東京創元社 【913 オ】

*『営繕かるかや怪異譚』

小野 不由美/著 KADOKAWA 【913 オ】

*『オイサメサン』

神津 凜子/著 講談社 【913 カ】

*『一寸先の闇』

澤村 伊智/著 宝島社 【913 サ】

*『赤いペン』

澤井 美穂/著 集英社 【Y913 サ】



*『ジャンル特化型ホラーの扉』

闇/編集 河出書房新社 【Y913 シ】

*『七人怪談』

加門 七海/著 KADOKAWA 【913 シ】

*『穢れた聖地巡礼について』

背筋/著 KADOKAWA 【Y913 セ】

*『めぐみの家には、小人がいる。』

滝川 さり/著 幻冬舎 【913 タ】

*『震える叫び』

R.L.スティン/監修 理論社 【Y913 フ】

*『復讐したい』

山田 悠介/著 幻冬舎 【913 ヤ】